



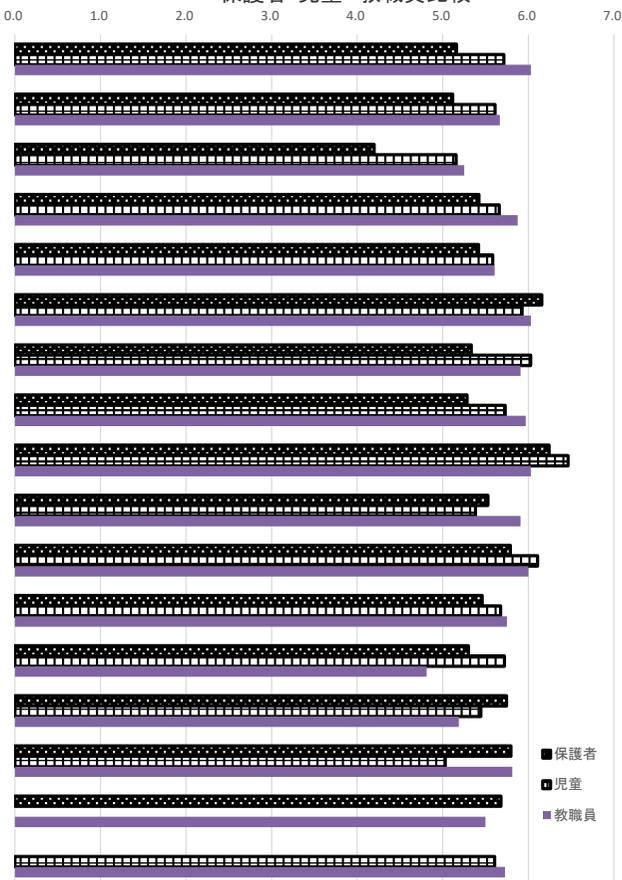
令和8年3月12日
京都市立明倫小学校
校長 廣野 智
TEL:075-701-0111
FAX:075-701-0112

学校アンケートにご協力ありがとうございました。アンケートは、「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」「開かれた学校」の4観点から実現度をおたずねしました。

保護者・児童・教職員 回答比較

	保護者	児童	教職員
1	学	めあてをもってすすんで学習に取り組んでいる。	5.2 5.7 6.0
2	学	すすんで家庭学習に取り組んでいる。	5.1 5.6 5.7
3	学	すすんで読書をしている。	4.2 5.2 5.3
4	学	授業や家庭学習で、基礎学力が身につけてきている。	5.4 5.7 5.9
5	学	授業や家庭で対話をする力が身につけてきている。	5.4 5.6 5.6
6	心	毎日楽しく学校に通っている。	6.2 5.9 6.0
7	心	すすんで挨拶をしている。	5.3 6.0 5.9
8	心	いろいろなことにチャレンジしようとしている。	5.3 5.7 6.0
9	心	友だちを大切にしている。	6.2 6.5 6.0
10	心	自分のよいところや得意なことを言える。	5.5 5.4 5.9
11	心	学校や家庭、交通のルールを守っている。	5.8 6.1 6.0
12	体	すききらいせず、バランスよく食事をしている。	5.5 5.7 5.8
13	体	外遊びなど、すすんで運動をしている。	5.3 5.7 4.8
14	体	早ね・早起き・朝ごはんをしっかり食べる等、規則正しい生活をしている。	5.7 5.4 5.2
15	開	子どものことで気になることがあれば、学年担任や学校に気軽に相談できる。	5.8 5.0 5.8
16	開	学校からのおたよりやホームページで、学校の様子がよくわかる。	5.7 / 5.5
17	心	あじなす目標を意識して行動している。	5.6 5.7

保護者・児童・教職員比較



9. 友だちを大切にしている。

前期のアンケート結果と同様に、「友達を大切にしている」という項目の結果が非常に高いことを、大変嬉しく思います。

皆さんは体育館北入口に掲示している「なかまの木」をご覧になったことはありませんか。本校では月初めに人権児童朝会を行い、その月のテーマに基づいた人権の話を担当教員から聞いた後、各学級で授業を行っています。子どもたちは、そこで感じたことや考えたことを一言で表し、「人権の葉」に記して掲示しています。

人権参観懇談会にはご参加いただけましたでしょうか。本校の行事には日頃より多くの方にご参加いただき、子どもたちの成長に関心を寄せてご協力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

一方で、人権参観懇談会以外の行事に比べ、参加される方がやや少ないように感じております。子どもたちが毎月取り組んでいる人権の学習は、特別な内容ではなく、日々の生活と深く関わる身近なものです。懇談会でも、子どもたちの様子を共有し、今後の子育てに生かしていただける内容を準備しております。

アンケートで三者ともに高い結果となった「人を大切にすること」について話し合ったり、「誰もが安心して笑顔で過ごせる毎日」につながる大人や家庭の関わりについて考えたりする機会となれば幸いです。来年度は、ぜひご予定ください。



11. 学校や家庭、交通のルールを守っている。

この項目も非常に高い結果なのですが、実際にはルールが十分に守られていない場面も見受けられます。

校内では「走ってはいけない場所を走る」ということについて、指導の在り方を見直しているところです。走ってしまう背景として、「時間に余裕がない」「目の前のことに夢中になっている」などが考えられます。こうした気持の焦りが事故につながる可能性があることを丁寧に伝え、子どもたちが落ち着いて行動できるよう、時間配分や声かけの工夫を続けてまいります。

また、校外では、セブンイレブンの交差点から中町公園へ向かう道路を広がって歩くことや、京都信用金庫前の交差点を渡るということについて、ご指摘いただいております。ご心配をおかけし、申し訳ありません。毎月の安全指導に加え、登下校中の交通ルールについても改めて指導してまいります。ご家庭でも、安全な歩行や交通ルールについて話題にしていただけますと幸いです。

15. 子どものことで気になることがあれば、学年担任や学校に気軽に相談できる。

前期・後期ともに、保護者や教職員の結果は高いのに対し、児童の結果がやや低いことが気になっています。中には「気になることがない」という理由で相談できないと答えた児童もいるようですが、困った時にいつでも相談できるといふ安心感を子どもたちに育てたいと考えております。

自由記述欄には、教科担任制により学級担当以外の教員が関わる機会が増えたことについて、多くのご意見をいただきました。「複数の先生に見ていただけて安心」といった肯定的なご意見がある一方で、「教科担任による評価について相談したい場合、学級担当からの話だと本人に伝わりにくい」とのご指摘もありました。

ご相談やご連絡等も、学級担当に限らず、お子さんに関わるどの教職員にしていいただいても構いません。子どもたちが安心して前向きに学校生活を送れるよう、教職員一同で見守り、支えてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

3. すすんで読書をしている。

【資料の中の数値について】
よくできている...「7」
だいたいできている...「5」
あまりできていない...「3」
できていない...「1」
回答人数をかけた総計を回答者数で割り、平均を出しています。「4」が中間値となり、「5」を超えていると概ねできていると判断してよいと考えています。

年2回の読書週間では、教職員も一緒に朝読書に取り組み、多くの子どもたちが新しい本との出会いを楽しむ様子が見られました。一方で、児童の結果は前期よりも0.4ポイント低下しました。

図書館の蔵書の充実については、毎回多くのご意見をいただいております。司書教諭や図書ボランティアの方々と連携し、子どもたちが本に親しみ、すすんで読書に向かえる学校図書館・学級文庫づくりを進めています。合わせて、子どもたちのリクエストを参考に新しい図書を購入し、読書意欲の向上にも努めています。

タブレット端末の活用には注目が集まりがちですが、読書を通して知識や想像力を育むことも大切にしていきたいと考えています。ご家庭でも、お子さんが最近読んでいる本について話題にしていただけますと幸いです。

5. 授業や家庭で対話する力が身につけてきている。

学校だよりやホームページ等でもお知らせしておりましたとおり、今年度の全国小学校英語教育実践研究大会の会場校に本校が選ばれました。1月30日には各都道府県から多くの方にお越しいただき、子どもたちの頑張りをご参観いただきました。参加者アンケートには、「子どもたちの自分の思いを伝えようとする姿が素晴らしかった」「相手に何をどう伝えればよいかを一生懸命に考え、工夫している子が多く見られた」「どの学年でも対話を楽しんでおり、学校全体で対話力の育成に取り組んでいることが伝わった」など、温かいお言葉を多数いただきました。これらの力は、英語の時間に限らず、他教科や日常の様々な場面で「必然性のある対話」を積み重ねてきた成果であると考えております。研究大会の様子をまとめたポスターを職員室前に掲示しておりますので、来校の際にはぜひご覧ください。

また、自由記述欄には、「ご家庭での対話について書いてくださった方もいらっしゃいました。今日あった出来事や日々の学びについて、子どもたちが何を感じ、何を考えているのかを共有する時間は、子どもたちの健やかな成長につながる大切な機会です。お忙しい毎日ではありますが、ご家庭でこのような時間を大切にしていただけますと幸いです。